

2023年7月27日

各位

会社名 株式会社グローバルダイニング
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
 (コード番号 7625 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役 最高財務責任者 中尾 慎太郎
 TEL : 050-5443-1028

第2四半期連結業績着地見通し及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表した2023年12月期通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

なお、参考までに2023年12月期第2四半期連結業績の着地見通しをあわせてお知らせいたします。

記

2023年12月期(連結)通期業績予想の修正(2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,002	300	314	301	29.11
今回修正予想(B)	10,983	569	575	597	57.66
増減額(B-A)	980	269	260	296	
増減率(%)	9.8	89.5	82.8	98.1	
(参考)前期実績 2022年12月期	9,558	224	297	222	21.46

(参考)2023年12月期第2四半期(連結)業績の着地見通し(2023年1月1日~2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期 着地見通し	5,387	265	263	292	28.17
前年同期比増減額	793	243	193	236	
増減率(%)	17.3	1,111.1	277.4	421.8	
(参考)前年実績 2022年12月期2Q	4,593	21	69	55	5.40

※決算発表は7月31日を予定しております。

修正の理由

・第2四半期業績について

国内のインバウンド需要の復活や、コロナが落ち着き人流が増加したことによって既存店の客数・客単価が伸びたことから、第2四半期の連結売上高は前年比17.3%の増収となる見通しです。特に権八業態(和食)が前年比70.1%増となり、増収に貢献いたしました。利益については、エネルギーコストや材料費・人件費等が増加しているものの、増収によりコスト増を吸収し、営業利益・経常利益・四半期純利益についても上記の通り増益となる見通しです。

・通期業績予想について

下期においても上期同様の環境が続くものと予想しておりますこと、また秋・冬の実業やイベントなどにより下期は売上高の季節指数が高くなる傾向であることを鑑み、通期業績予想を前頁のとおり修正いたします。

(注) 前頁に記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上